

X 新幹線鉄道振動の状況

1 新幹線鉄道振動の監視

振動については環境基準が設定されていないため、環境庁長官は運輸大臣に対し、「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」（昭和51年3月12日環大特第32号）により、新幹線鉄道振動の指針値による対策を勧告している。

県内では、県及び浜松市が、新幹線鉄道振動に係る指針値の適合状況を確認するために、新幹線鉄道沿線地域において調査を実施している。

令和5年度に実施した調査の状況は、表X-1のとおりである。

表X-1 調査の実施状況

軌道中心からの距離	測定地点数		
	県	浜松市	合計
25 m	7	2	9
50 m	7	—	7

2 新幹線鉄道振動の指針値

「環境保全上緊急を要する新幹線鉄道振動対策について」（昭和51年3月12日環大特第32号）において、新幹線鉄道振動の指針値として70dBが示されている。

3 新幹線鉄道振動の調査結果

令和5年度調査において、軌道から25m及び50mの調査では全ての地点で指針値に適合した。

表X-2 新幹線鉄道振動に係る指針値の適合状況

No.	測定地点	地点側の軌道 (上下線別)	指針値 (dB)	軌道から25m		軌道から50m	
				評価値(dB)	適否	評価値(dB)	適否
1	沼津市青野	上	70	53	○	45	○
2	焼津市大栄町	上	70	64	○	55	○
3	焼津市小屋敷	下	70	61	○	53	○
4	藤枝市高洲	下	70	64	○	55	○
5	島田市阪本	下	70	46	○	35	○
6	袋井市愛野	下	70	54	○	46	○
7	磐田市中泉	上	70	53	○	50	○
8	浜松市中央区鶴見町	下	70	55	○	—	—
9	浜松市中央区舞阪町	上	70	59	○	—	—

(注) 指針値及び評価値は、列車ごとの最大振動レベルの平均値 (L_{Smax} 、単位デシベル(dB)) である。